



流域治水における
河川の役割と洪水対策

東京都建設局河川部
中小河川計画担当課長　向山　公人



目　次

1　荒川水系流域治水プロジェクト2.0

2　神田川流域の概要

3　河川の整備状況

（１）河道・調節池

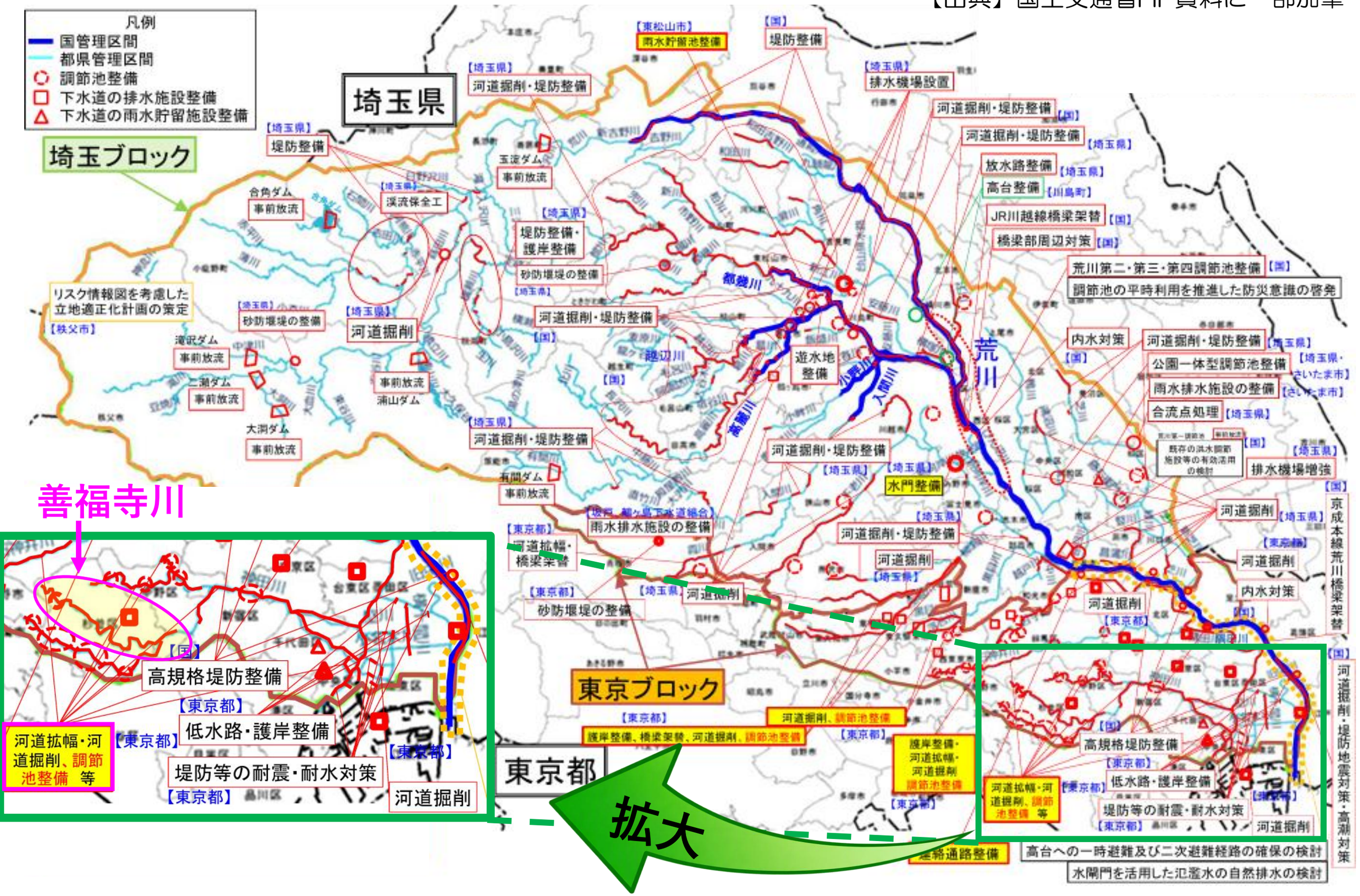
（２）環境整備

4　気候変動を踏まえた河川整備の実施

5　総合的な治水対策の取組

1　荒川水系流域治水プロジェクト2.0【位置図】

【出典】国土交通省HP資料に一部加筆



1　荒川水系流域治水プロジェクト2.0【位置図】（グリーンインフラの取組）



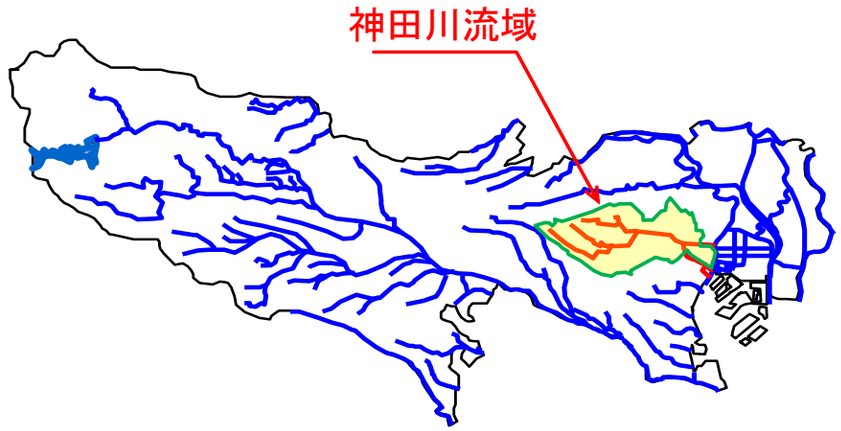
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※上図における対策は、国、都県、市区町村及び水資源機構の代表事例を記載。

【出典】国土交通省HP資料に一部加筆

2　流域及び河川の概要　－神田川流域の概要－

- 流域面積　約 105 km^2
- 幹川流路延長　約 24.6 km （善福寺川延長10.5km）
- 水源：東京都三鷹市（井の頭池）
- 支川：善福寺川、妙正寺川、江古田川
- 派川：日本橋川、亀島川
- 流域区市：１３区２市
  （千代田区,中央区,新宿区,文京区,台東区,世田谷区,
  渋谷区,中野区,杉並区,豊島区,北区,荒川区,練馬区,
  武蔵野市,三鷹市）

案内図

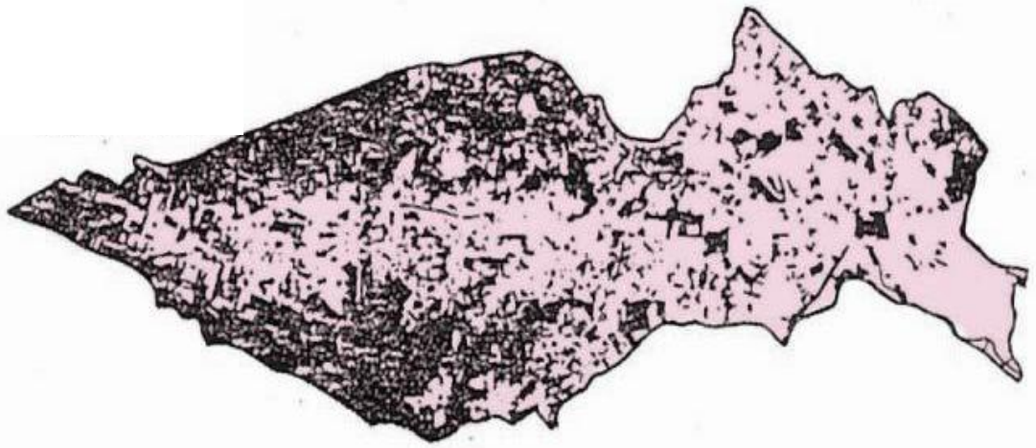




2　流域及び河川の概要　－神田川流域の概要－

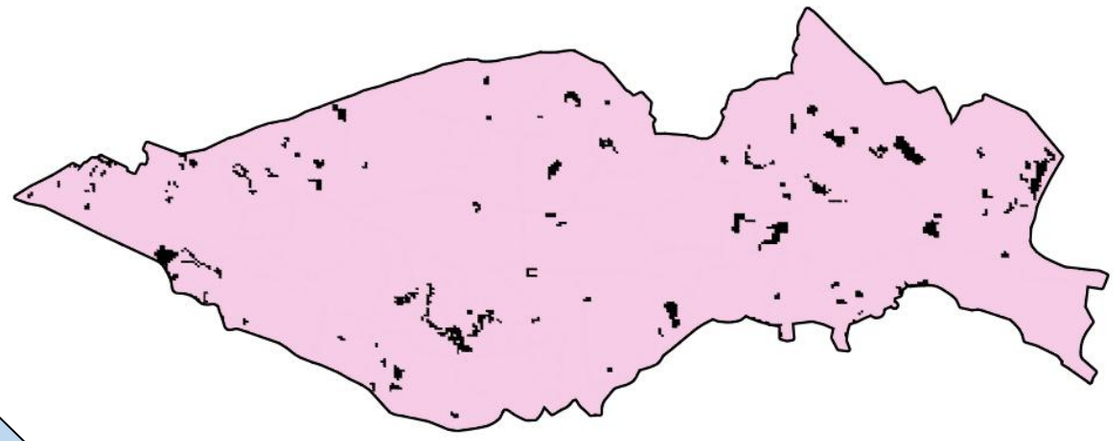
●神田川流域市街化変遷図

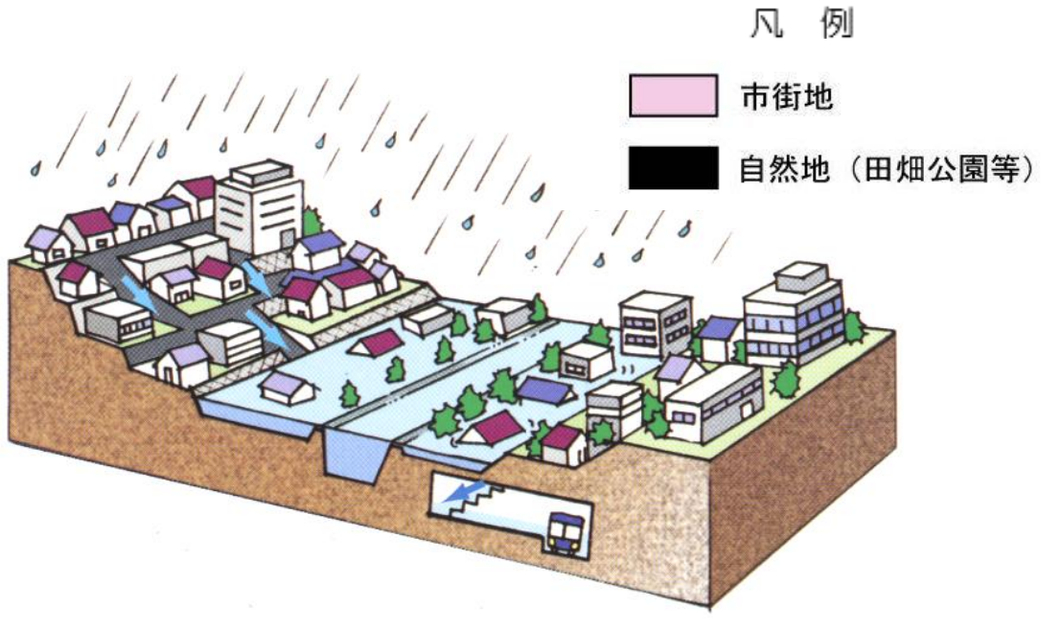
昭和20年代初期（市街化率約58%）





令和３年（市街化率約96%）

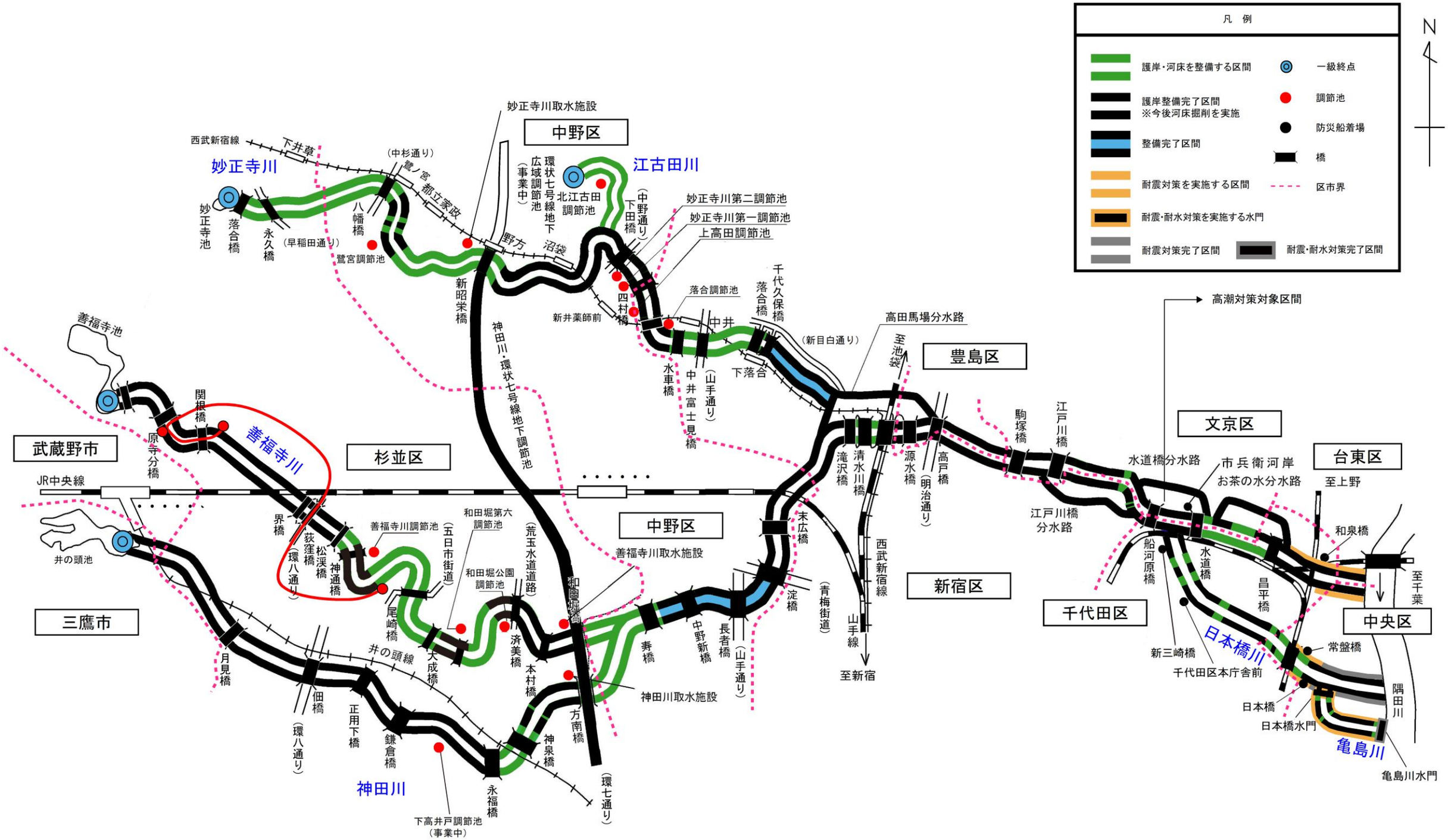




都市域では、土地利用の高度化により被害が増加し、都市機能の麻痺や地下空間の浸水被害など、都市型水害としての課題が顕在化しています。

3　河川の整備状況　（１－１）河道・調節池

●神田川流域 河川整備状況図



3　河川の整備状況　（１－２）河道・調節池

〔河川の整備状況〕 洪水対策

・1時間あたり50mmの降雨に対応する河道の護岸整備は、神田川で約９割、
　妙正寺川で約５割、善福寺川で約６割の進捗



善福寺川　八幡橋付近

〔調節池の整備状況〕 洪水対策

10調節池が完成、４調節池が事業中

・下高井戸調節池（事業中）
・環状七号線地下広域調節池（事業中）
・善福寺川上流地下調節池（事業中）
・妙正寺川上流調節池（仮称）（事業中）



環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）

3　河川の整備状況　（１－４）河道・調節池

令和８年６月３日の台風６号における調節池の効果（荒川水系神田川流域）

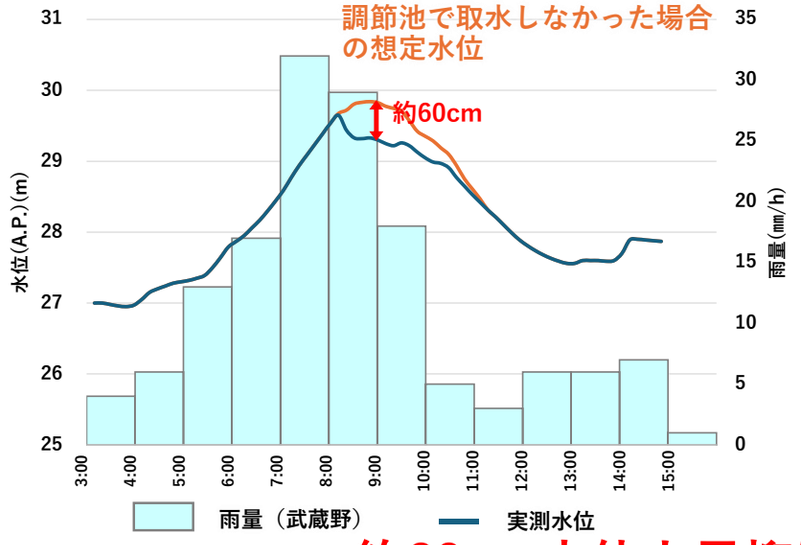
・神田川流域では、武蔵野観測所（武蔵野市）で**最大１時間降水量37㎜（総雨量159㎜）**を観測
・7時10分 善福寺川 **レベル４氾濫危険警報**、8時25分 神田川 **レベル４氾濫危険警報を発表**
・神田川・環状七号線地下調節池において**約24万㎥を取水し、**調節池下流で**最大約60cmの水位上昇を抑制**



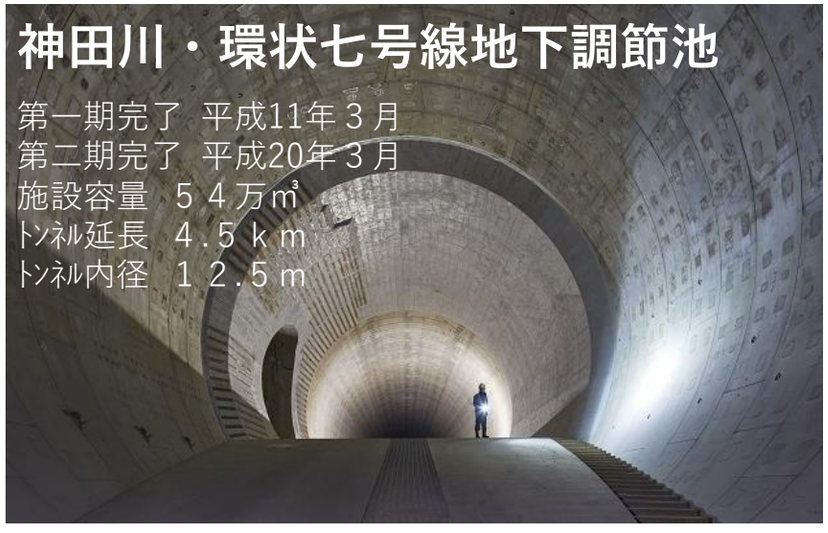
環状七号線地下調節池 善福寺川取水口



調節池の効果（和田見橋付近）



約60cm水位上昇抑制



和田見橋付近の状況



3　河川の整備状況　（２）環境整備

〔親水整備〕

・関係機関と連携して、公園等のオープンスペースと一体的に整備

〔グリーンインフラ〕

・既存調節池敷地を利用した環境整備

親水整備の事例（善福寺川済美橋付近）



善福寺川取水施設における導入事例







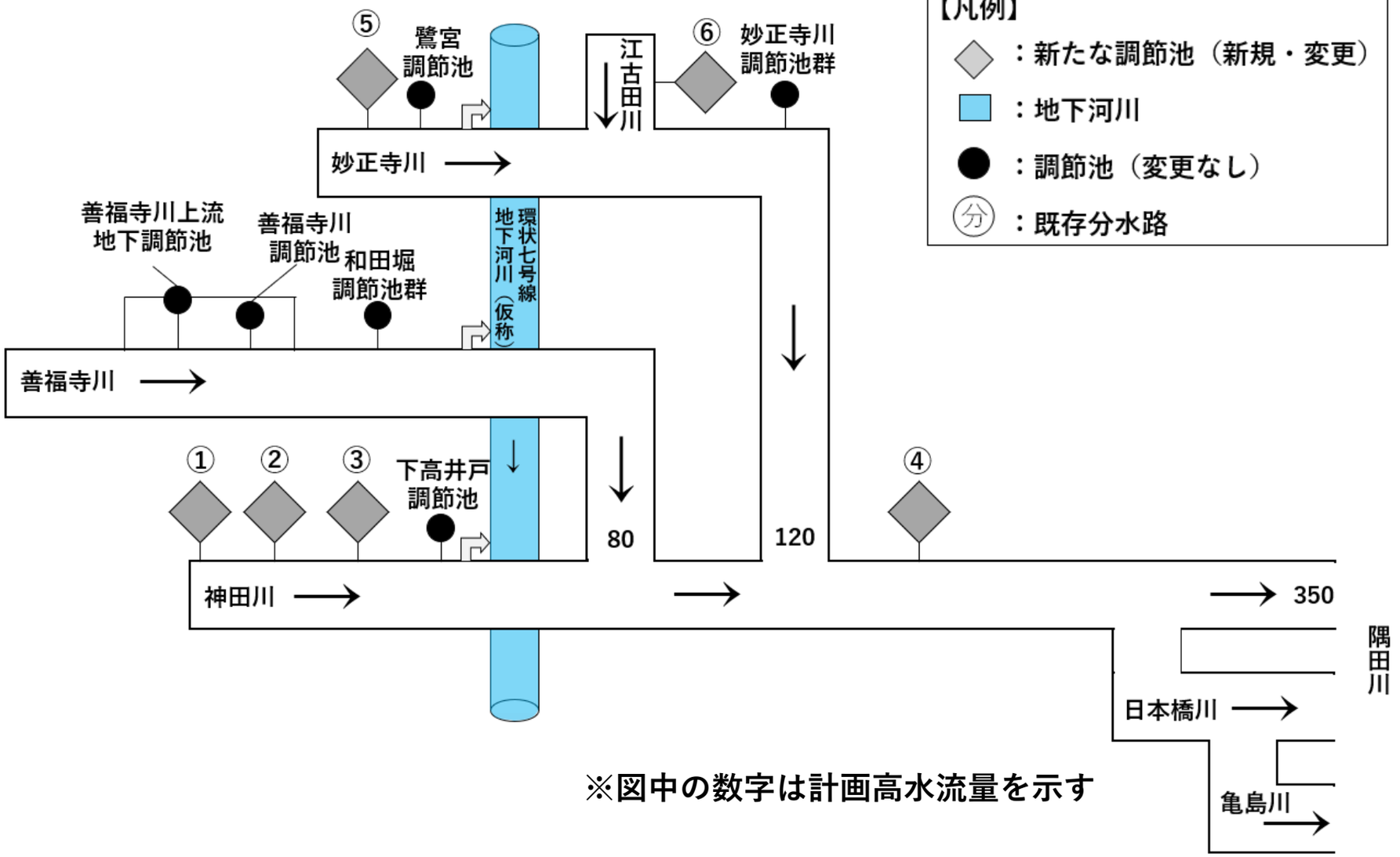




4　気候変動を踏まえた河川整備計画の実施

●洪水対策の概要

調節池等整備の概要



【凡例】
- ：新たな調節池（新規・変更）
- ：地下河川
- ：調節池（変更なし）
- 分：既存分水路

※図中の数字は計画高水流量を示す

新規及び変更がある調節池一覧

河川	番号	調節池容量（予定）
神田川	①	約5.2万㎥
	②	約3.6万㎥
	③	約10.1万㎥
	④	約30.7万㎥
妙正寺川	⑤	約10.7万㎥
江古田川	⑥	約4.5万㎥

・配置場所等の施設計画は、今後検討、調整
・検討の際には、ネットワーク化についても考慮
・上図以外にも、上流域に調節池等の整備をするなど対応

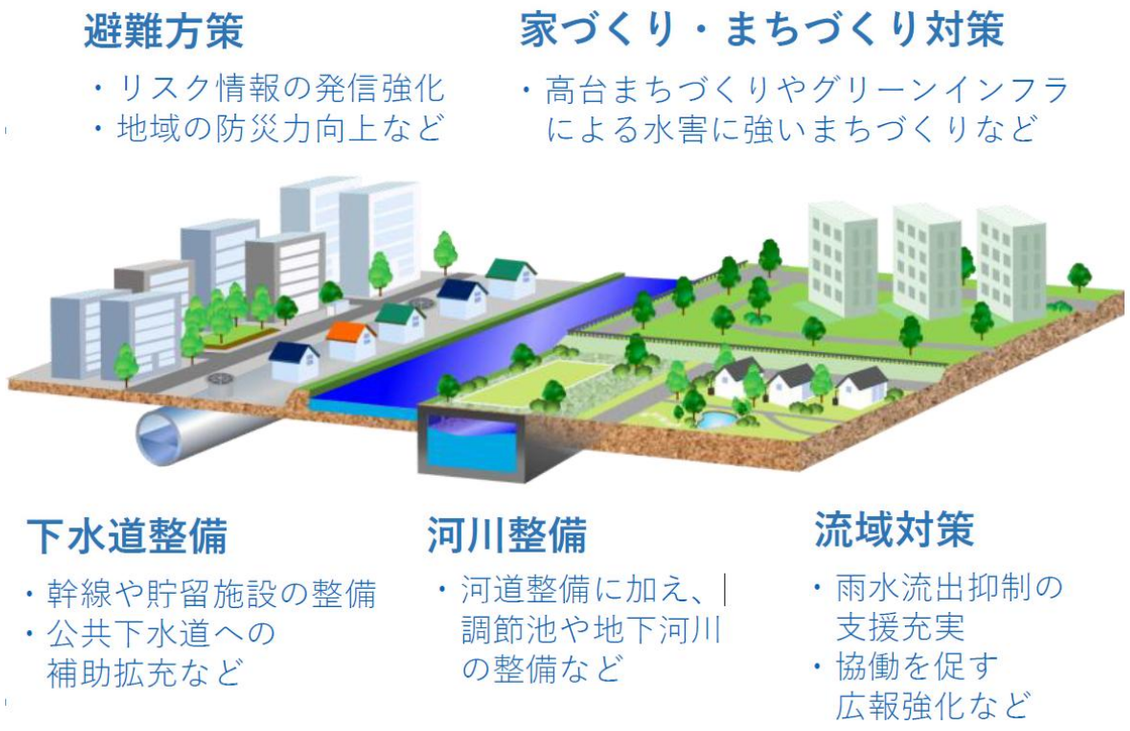
5　総合的な治水対策の取組

洪水対策の推進に向けた取組の展開

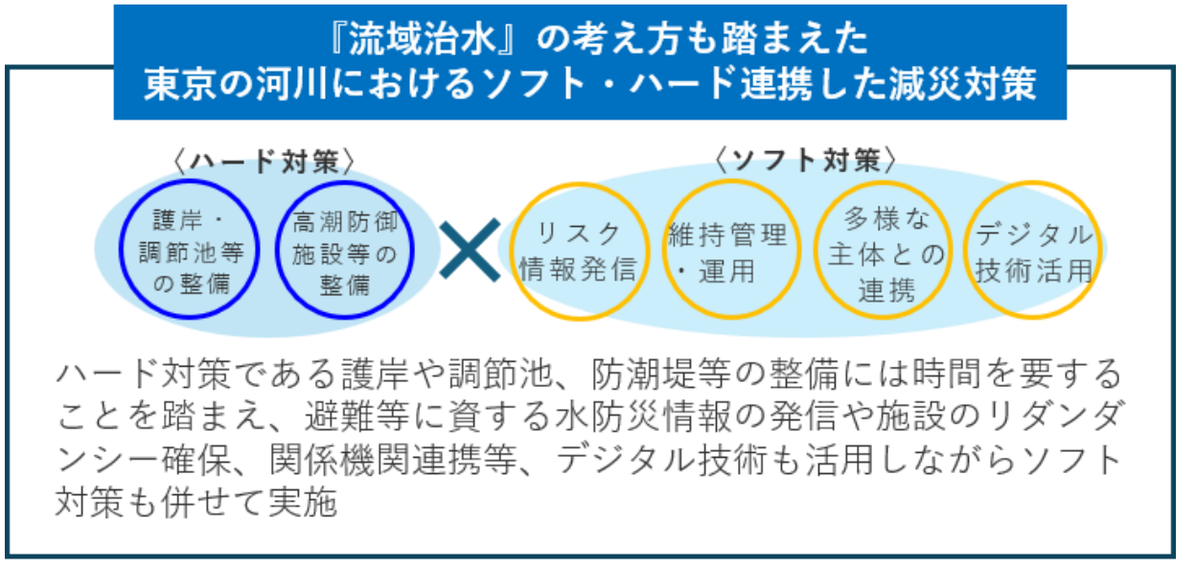
□　「東京都豪雨対策基本方針（改定）」（令和５年12月）で示す各施策とも連携し、洪水対策を推進

□　河川における洪水対策、下水道による浸水対策、雨水貯留・浸透施設等の流域対策などを組み合わせて、気候変動に対応（当面整備は対策強化流域を対象）

□　豪雨対策の更なる推進に向け『流域治水』の考え方も踏まえハード対策とソフト対策が連携した減災対策を推進



豪雨対策の基本的な施策



流域治水の考え方を踏まえた減災対策